

第3種郵便物認可

神奈川

三浦のデイホーム「みどりの家」

三浦市内の住宅を利用し、地元ボランティア団体が運営するデイホーム「みどりの家」(南浦町上宮田)が五年目を迎えた。住民主体の福祉拠点として注目を集めており、二十四日には相模原上溝地区民生委員協議会(清水寛会長)の三十四人が視察に訪れた。(小野たまみ)

住民主体で 支え合って

「みどりの家」は一九九八年四月、高齢者への配食サービスなどに取り組んで、子供など地域住民に交流させるボランティア団体「みどりの会」(鈴木秀子代表)が空き家を借りて開設。毎週水曜日に、一人暮らしの

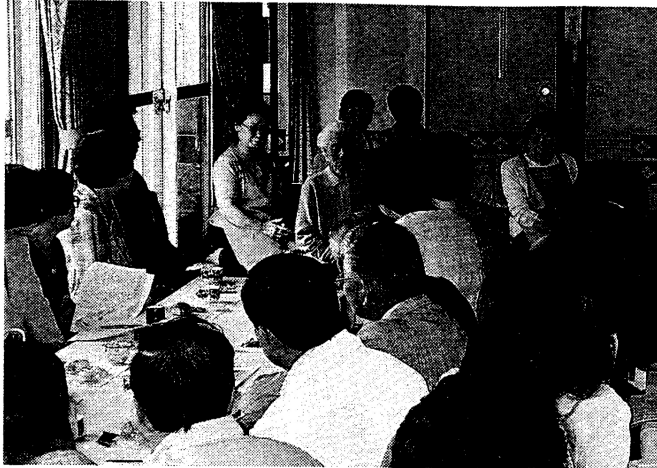
見学。その後、同会メンバーが活動を紹介した。鈴木代表が「資金繰りは大変だ。清水会長は「行政主導のが、例えば配食サービスな

注目の福祉拠点

5年目を迎える

相模原からも視察団訪問

どは地域の農家や漁師のし、ボランティアのみならずの善意に支えられ、非常に安い経費で行うことが「恵まれた環境で



「みどりの会」のボランティアスタッフが、子供たちと交流している様子。背景には「みどりの家」のロゴが見える。

要望に応 臨時局を

葉山郵便局

葉山町一色の葉山郵便局がこのほど、同町長柄の葉山校会館で、「臨時郵便局」を開設した。近くに郵便局がなく、不便を強いられていた地元の葉山自治会の要望に応えたもので、三回目。今後も住民サービス向上のため臨時、臨時郵便局を開設していく方針だ。

臨時郵便局が開かれたのは二十一日午前十時から午後一時まで。葉山校会館一階ロビーに切手販売コーナーと貯金・保険相談コーナー

赤ちゃんを抱いたお母さんも利用に訪れた臨時郵便局
葉山町長柄の葉山校会館

思い出の

当時の 30余

幼いころの手形を見て成長を感じて。一九六九年に横須賀市立武山小学校に入学した同級生のクラス会が二十五日、開かれる。二年生のときに手のひらにインクを塗って作った手形